

S H I M I N P H O T O

市民フォト

KAGOSHIMA

鹿児島



NO. 98
平成16年10月1日発行



【 カルテット 】
～甲突川右岸武之橋付近～

CONTENTS

【特集】5町って、こんな町……	3
クローズアップ……	12
大園美紀さん	
学校探訪……	14
東桜島中学校	
カメラトビックス……	16
ハロー鹿児島……	18
タノン・ブーンサバトさん	
私の好きな場所……	20
文田哲雄さん	
ふるさと再発見〜史跡編〜……	22
小松帯刀像	
あなたのフォトサロン……	24
鹿児島女子高等学校写真部	
よかタイム……	26
平本 和子さん	
街角ウォッチング……	27
谷山駅周辺	
わが家の味じまん……	28
濱田 泉さん・紀子さん夫婦	
館のたからもの……	29
田上小学校	
わが町上空……	30
鹿児島中央駅周辺	

★表紙写真説明

夜空を彩る観覧車のイルミネーション。
鹿児島島の新しい夜景スポットの誕生です。

(高見橋)



5町って、こんな町

11月の合併を目前に控えた1市5町。合併すると人口約60万人、面積が現在の約2倍の新しい鹿兒島市が誕生します。

でも、新たに仲間に加わる5町ってどんな町？今回の特集は、5町の横顔を紹介するとともに、市内のアマチュアカメラマンに、ファインダーからのぞいて見た5町の印象を語ってもらいます。



松元町



整然と広がるお茶畑。良質のお茶が市場でも高い評価を得ている

松元町は人口約1万2700人、面積51.05km²の町。近年、宅地化が急速に進み、前回の国勢調査では人口増加率がなんと県内第1位。

町内には2つのJRの駅や、南九州西回り自動車道の「松元インターチェンジ」があり、交通アクセスのよさは抜群。

お茶の産地であり、昔ながらの手もみの体験講座も行われています。町の特産品直売所では、甘さ控えめの「お茶クッキー」やお茶の粉入りでヘルシーなお茶ドレッシングなどが人気商品。

そして、松元町といえば「卓球の町」。先月は、アテネオリンピックで大活躍した福原愛ちゃんが訪れ親善試合などをしました。

印象に残る一枚



城山写真友会 諏訪園 保さん

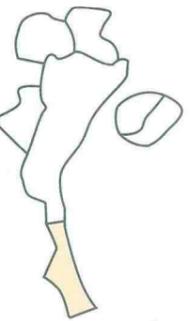
田の神サアが人々を見守る



松元町は田畑が多く、田の神サアが多い町という印象があります。写真は入佐地区にある大坪の田の神サア。五穀豊穰、子孫繁栄、無病息災を願って人々を見守る田の神サアですが、県内各地の田の神サアを撮っていると、それぞれ地域性があって興味深く感じます。

5町が合併しても、それぞれの特長を生かした町づくりができるといいですね。

鹿児島市からも近く、史跡も多いので、これからも機会を見つけてちょくちょく撮りに行きたい町ですね。



海が広がる、喜び入る町



石油基地の手前には、(右から)「喜入八幡温泉保養館」や「室内温水プール」が建ち並ぶ

人口約1万3000人、面積61.23km²のこの町には、南北に延びる16kmの海岸線があります。この海岸は沖合い1.5kmまで遠浅になっていて、アオノリなどの海の恵みも豊富。

国道沿いに走ると「喜入八幡温泉保養館」があります。ここには温泉施設やレストランなどが完備されており、町内外のお客さんが入浴や地元の新鮮な特産物などを買いに訪れるコミュニティスペースになっています。隣接する「室内温水プール」には、ウォータースライダーや幼児プールがあり、家族連れにも大人気。

また、喜入町と言えば、世界最大の備蓄能力を持つ石油基地。整然と立ち並ぶ石油タンクは圧巻です。

印象に残る一枚



中央写真友会 藤村 準子さん

地域で力を合わせ稲刈り



喜入町といえば海のイメージがありますが、ちょっと山手に上がると、こじんまりとした集落があり、田んぼが広がっているんですよ。

一昨年、私は一倉小学校に行って、子どもと父兄、お年寄りたちが力を合わせて稲刈りをする写真を撮りました。子どもが30人ぐらいの小さな学校なんですが、地域の人たちが子どもたちを見守り交流を深める姿に、心温まる思いがしました。

稲を干している奥には錦江湾が見え、大隅半島もうっすらと見えていましたよ。

吉田町



田園風景広がる教育の町



山あいにはのどかな田園風景が広がる

人口約1万1800人、面積54.79km²のこの町には九州縦貫自動車道の「薩摩吉田インターチェンジ」があります。16年前に鹿児島インターチェンジができるまで、鹿児島空港に行くときなど、このインターチェンジから高速道路に乗り入れる人も多かったのでは。

稲荷川の上流に位置するこの町は、県の総合教育センターや青少年研修センターなどがあり「教育の町」としても知られています。

また、野菜の産地でもあり、特にニガウリは、お隣の郡山町と並んで多くの生産量を誇ります。県道沿いの「輝樂里よしだ館」では、町内で生産された新鮮な野菜などの農産物を買っており、休日には800〜900人も訪れます。



印象に残る一枚



吉野写友会 市来原 淳一さん

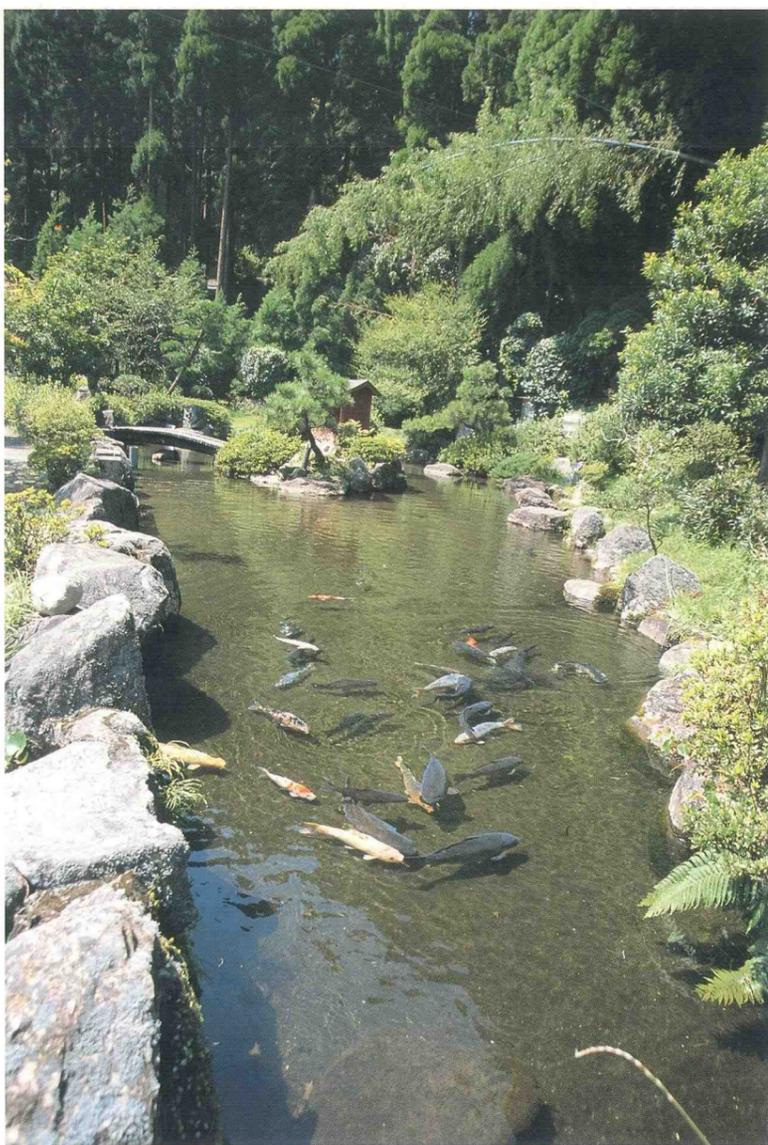
澄んだ水と温かい人たち

吉田町の印象と言うと、水がきれいな町でしょうか。私は1週間に1度、水くみに行き、家では飲み水はもちろん、料理にも吉田町の水を使っています。澄み切っていてとってもおいしいですよ。地元の人はとても親切で、水くみ場所を譲ってくれたり声をかけてくれたりしてくれます。写真は、インターチェンジのちょっと北にある湧水場。地元の人たちが野菜を洗いながら談笑していて、まさに井戸端会議って感じですね。

人口約8600人、面積57.75km²のこの町は甲突川上流に位置し、薩摩日光と称される花尾神社をはじめ、史跡も多く残されています。温泉も多く、「スパランド 裸・楽・良」は水着で入れる温泉プールもあります。

観光農園などを生かした都市農村交流型農業も盛ん。ニガウリは県内でも有数の生産量を誇り、また、早掘タケノコでも有名です。八重山キャンプ場からは眺

望がすばらしく、晴れた日には開聞岳まで見えるそう。隣の八重山公園には丸太を使ったダイナミックなアスレチック広場があり、草スキーも楽しめます。



八重山中腹の甲突池では、こんこんと水が湧き出ている

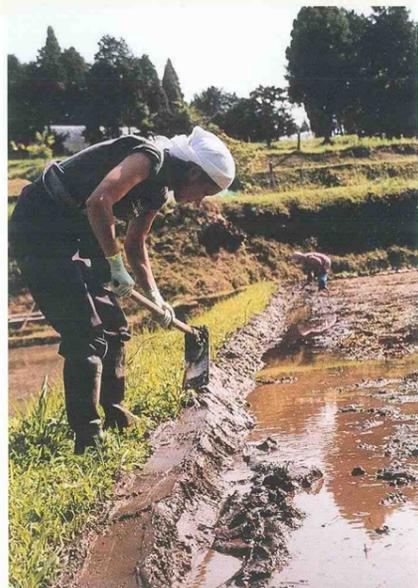
甲突川の源流。温泉も豊富

印象に残る一枚



谷山写友会 田中 美智子さん

棚田と蔵がよき農村の風情を残す



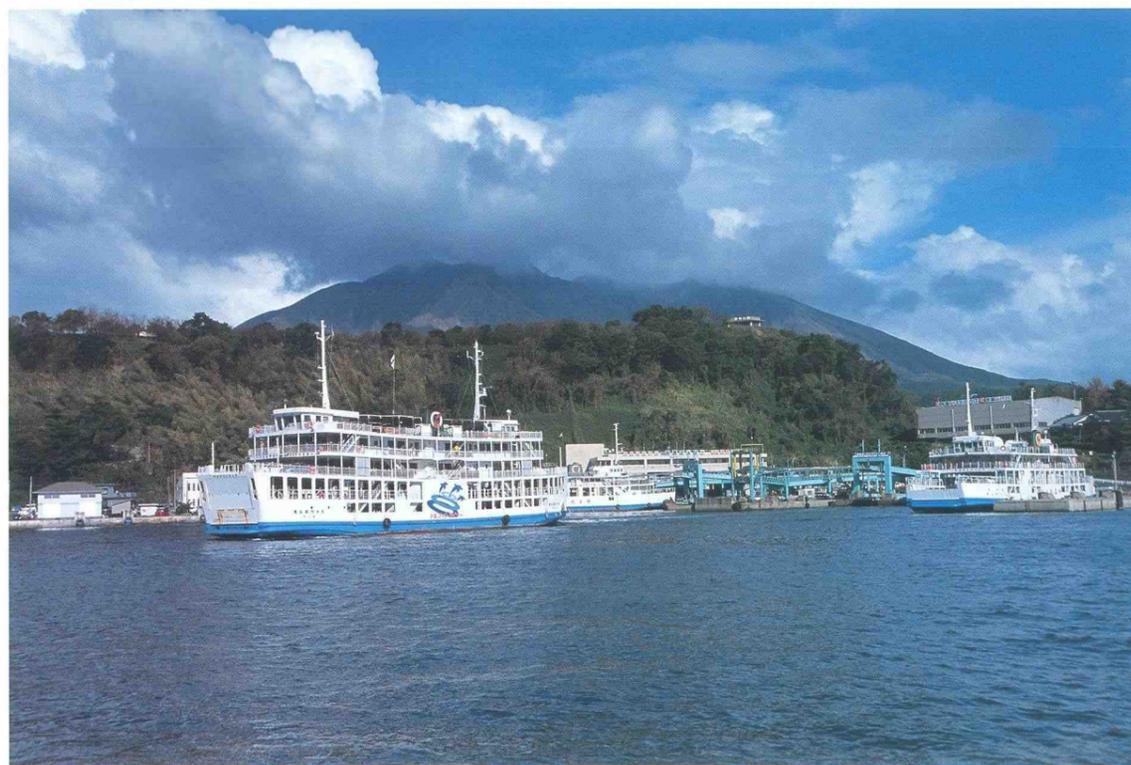
郡山町は小さい棚田が多い町です。家族3世代でコツコツと農作業に勤しんでいるって感じがします。人々はおおらかで、カメラを向けたら快く応じてくれる人が多いですよ。この前なんか撮影をしているうちに親しくなって、「息子夫婦が手伝いにきているから、ぜひ撮って」と頼まれたことも。最近、あまり見なくなりましたが、農作物などを保管しておく蔵もあちこちで見かけ、風情を感じますね。

郡山町

桜島町



世界に誇る特産品の数々



24時間運航している桜島フェリー。待ち時間もなく、あっという間に桜島へ到着

錦江湾に浮かぶ世界に誇る活火山「桜島」。この鹿児島市街地側が桜島町。
人口約4800人、面積32.19km²のこの町は、鹿児島市街地とは海を隔てているとはいえ、桜島フェリーが24時間運航しており、所要時間はたったの15分。しかも昼間は10分間隔で運航しているの、市内郊外の団地より市街地に近い!?

この町の特産物はギネス級。桜島ダイコンは世界一重いダイコン(31.1kg)として登録されており、桜島小ミカンも、1本の木から2万4649個が収穫されたことを、現在ギネスに申請中です。

印象に残る一枚



鴨池写友会 溜 紀子さん



火山にも人にもたくましさを感じる

幼いころ、父が大正3年の桜島大爆発のことをよく話してくれました。噴火の火柱が島の3倍もの高さになり、地震も数えきれないぐらいだったそうです。磯には数十頭のイノシシが泳いで逃げてきたと言っていました。

今でも荒々しい溶岩が当時を偲ばせますが、隙間から生える雑草や松の木に生命力を感じますね。

写真を撮りに桜島に行くと、土の匂いを感じます。そして、そこに暮らす人たちにもたくましさを感じます。



郡山町

ニガウリの果肉が入っているアイスcream



吉田町

新鮮な野菜と旬の果物



わが町のイチオシ



松元町

ヘルシーなお茶とクッキーとお茶ドレッシング



喜入町

縁起がいいヨ、喜入の切符



桜島町

ピワセリーは不思議な食感



みんなから
祝福される合併に

市長に聞く

心を一つにして考えた合併

いよいよ11月に1市5町の合併が実現しますが、ここに至るまでの道のりをふり返ると、他の自治体の合併に比べるとたいへん順調に進められたと思っています。このことは5町の皆さんが、気持ちを一つにして真剣に考えていただいた結果だと感謝しています。

1市5町に境界はない

今回合併する1市5町は、既に実質的には生活圈や通勤・通学圏などが同じ地域です。そういった意味

新生 鹿児島に向けて



では、今回の合併は、なるべくしてなった合併と言ってもいいんじゃないでしょうか。

5町はそれぞれ本市にはないすばらしい個性や魅力を持っている。例えば、豊かな自然や緑を生かした健康づくりや青少年育成などは、新しい鹿児島市にとってはかけがえのない財産でしょうね。

個性や魅力を生かしたまちづくり

私が5町にもっている印象を思いつくままで言うと、吉田町は野菜の産地、桜島町は世界に誇る観光

これまでのあゆみ

明治22年4月1日	市制施行により、鹿児島市が設置される。
明治44年9月30日	草牟田、武を編入。
大正9年10月1日	永吉、原良、玉里を編入。
昭和9年8月1日	中郡宇村(現在の郡元、宇宿地区など)、西武田村(現在の武、田上など)、吉野村を編入。
昭和25年10月1日	伊敷村、東桜島村を編入。
昭和42年4月29日	鹿児島市と谷山市が合併し、現在の鹿児島市が設置される。
平成7年3月29日	合併特例法が、平成17年3月31日までの時限法として改正される。
平成13年5月8日	鹿児島地区市町村合併調査研究会の設置。県の合併パターンで示された8市町村(鹿児島市、吉田町、桜島町、喜入町、松元町、郡山町、三島村、十島村)で構成。
平成14年8月26日	1市5町の枠組みで法定合併協議会の設置に向けた協議を進めることを確認。2村(三島村、十島村)においては、住民意識調査や離島航路の問題などを総合的に考慮し、参加は難しいと判断。
9月6日	1市5町の関係首長の会で、合併の方式は鹿児島市への編入合併とすることなど、基本4項目を確認。合併に関する諸問題を調査、検討、協議する鹿児島地区合併準備協議会を設置。
10月、11月	市町村合併に関する市民説明会や各種団体との意見交換会を開催。
平成15年1月24日	鹿児島地区合併協議会を設置。合併を行うこと自体の可否も含めて、合併に関するあらゆる事項の協議を行い、合併市町村の建設に関する基本的な計画の策定とその他市町村合併に関する協議を行うこととする。
4月23日	合併に関する「市民100人会議」を開催。
7月、8月	市町村合併に関する市民意見交換会や各種団体との意見交換会を開催。
11月	市町村合併に関する市民意見交換会や各種団体との意見交換会を開催。
平成16年3月3日	鹿児島地区合併協議会合併協定調印式
4月8日	1市5町の合併申請書を県知事に提出。
6月28日	「11月1日から、吉田町、桜島町、喜入町、松元町及び郡山町を廃し、鹿児島市に編入する」とした決定書が県知事から交付される。
7月16日	総務大臣の告示がなされ、鹿児島地区の合併が法的な効力を持つことに。

資源がある果物の町、郡山町は森林豊かな町で甲突川の源流、松元町は卓球や健康づくりの町、喜入町は日石基地などがある海岸線の豊かな町といったところでしょうか。

各町の特長は、合併してもぜひ活かしていきたいかねばと考えています。あの意味で、現在の鹿児島市は成熟している街といえます。これからは5町の若い息吹を与え、その特色を生かしながら、ひとまわりもふたまたわりも大きい新生鹿児島市をつくりあげ、皆さんから合併してよかった」と言ってもらえるような成果をあげていきたいですね。

大蘭 美紀さん

略歴

平成元年生まれ。
平成15年に第5回民謡民舞少年少女全国大会(中学生の部)で優勝。
また、鹿児島県・民謡王座決定戦で3回連続優勝を重ね、県内で2人目の少年の部・名人位の称号をもつ。



師匠の舟倉さん夫婦に指導をあおぐ

今、島唄などで話題となっている民謡。そんな民謡の若き担い手の美紀さんは「昔から伝わる民謡は私の心に響き、そして残ります」と語る。その姿はどこか恥ずかしげだが、ひとたび三味線を持ち、歌い始める

と堂々たる姿に変身。聴く人を圧倒する。

てあげると、ほかのおもちゃでは遊ばず、ずっとそのおもちゃで遊んでいたそうだ。「音の出るおもちゃが好きだったんです。音楽が好きなんですよ。」

美紀さんは中学生のころ吹奏楽部員でもあった。担当楽器はサクソ。練習が遅くまでであり、吹奏楽に力を入れていたので、民謡との両立が難しくなってきた。しかし、「民謡のほう

が自分にあっていったのかな、結果的に民謡をとった形になっていました」。

わたた発声を努力して少しずつ声をつくっていくものなのだろう。出会ったころの美紀さんは「おとなしくて、お母さんへべつたりでした。だけど、舞台上になると秘めたものを感じさせました。ベストが出せるんです」と民謡の先生である舟倉勲さんは語る。「三味線には光るものがあつたんですが声は普通で

「何よりも音楽」

母タカエさんの勧めで5歳のとき三味線を始めた。三味線で民謡を弾くためには、民謡を歌うこと自体がうまくならないといけない。そこで小学校2年生のとき民謡を始めた。「見学先の三味線教室で三味線を弾

く曲目を決めるのか。民謡は、普通の歌と発声が違うため、教わったからといってすぐできるものではない。教

「先生をはじめいい人にめぐり会った。それが財産かなと親として思っています」とタカエさん。周りの

人との触れ合いが彼女をここまで成長させた。人前でしゃべれるようになったり、あいさつもすっかりできるようになった。彼女は民謡を通して、人間としての成長を続ける。「美紀さんは、人にかわいがられる、人が応援したくなる魅力を持った子です」と舟倉先生は優しいまなざしで美紀さんを見つめた。

「未来を見据えた練習」
中学校生活最後に優勝した全国大会の曲目は小学校3年生の時すでに先生が決めていた。なぜそんなに早

「今、目の前にあるものを見つめて」

「将来の夢はまだ決まっています。民謡は続けていきたいと思っています。今はただ、全国優勝というすばらしい賞をもらったのでそれに恥じないように歌っていきたいです」。

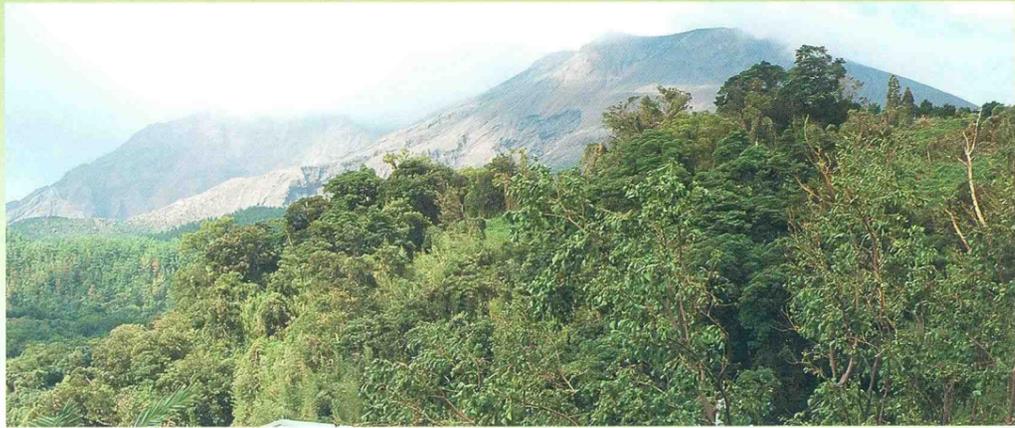


いつか
私にしか歌えない
民謡を歌いたい

いている人から目を離すことがなかったんですよ」とタカエさんは言う。3歳の時におもちゃのギターを買っ

く曲目を決めるのか。民謡は、普通の歌と発声が違うため、教わったからといってすぐできるものではない。教

「先生をはじめいい人にめぐり会った。それが財産かなと親として思っています」とタカエさん。周りの



教室の窓から桜島を望む



漁に出た男性を励ますために踊ったという「島廻り節」を女子全員で



創立 昭和22年5月2日 生徒数 35人 (平成16年9月13日現在)



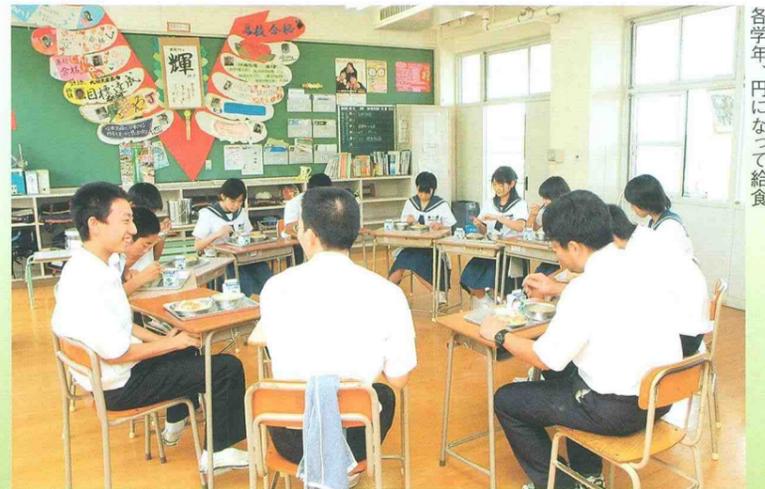
東桜島中学校



贈 昭和43年3月卒業生一同



男子全員で組み体操



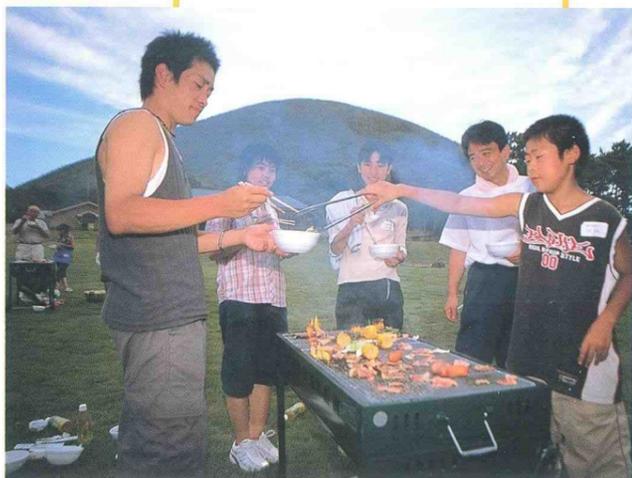
各学年、円になって給食



8月8日
市電・市バスゆ〜ゆ〜フェスタ
今年は新しくユートラム型トロック自転車が登場。動物のぬいぐるみを飾ったコア
ラ電車も貸し切り運行しました。



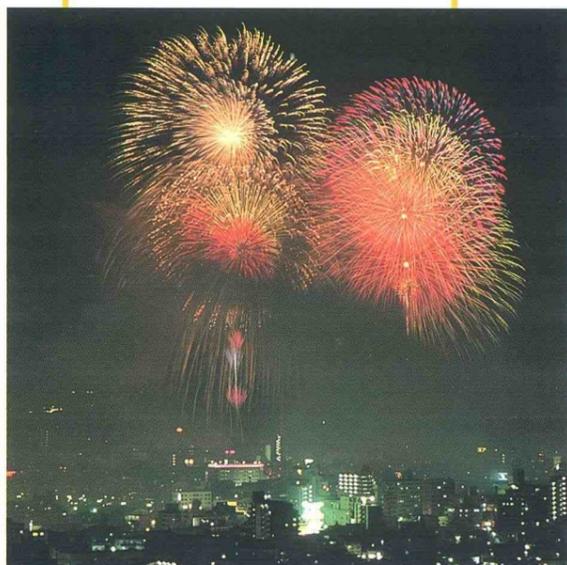
比志島の滝



7月27日
冒険ランドいおうじま開所
三島村の硫黄島に冒険ランドいおうじま
がオープン。自然観察や海遊びを体験し、
交流を深めました。



7月10日 磯海水浴場海開き
市街地の近くにある海水浴場として珍し
い磯海水浴場。今年も水質はトップラン
クのAA。



9月4日
九州新幹線開業記念
第4回かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会
2年ぶりに開催。新幹線開業を祝う花火
や1市5町の合併をイメージした花火など、
約1万3千発の花火が夜空を彩りました。



9月9日
鹿児島中央駅東口自転車等駐車場
が移転オープン
新しい自転車等駐車場は駅舎や駅ビルと
連絡通路で結ばれた3階建て。屋根があ
るので雨が降ってもぬれずに快適。



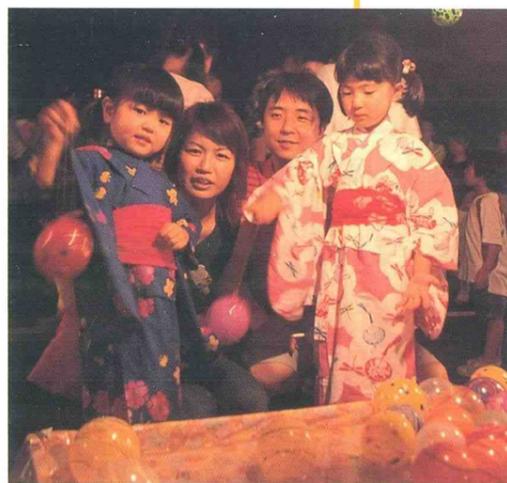
8月3日 市長勇退記者会見
記者会見で「新幹線が一部開業し、1市5
町の合併にも道筋がついた」と、5期20年
を区切りに勇退することを表明。



7月15日
消費生活センター
開所10周年記念講演会
元国民生活センター会長の有馬真
喜子氏が「変化する社会とこれからの
消費者」をテーマに講演。340人
が熱心に耳を傾けました。



6月28日
廃置分合決定書交付式
県知事から「11月1日から吉田町、桜島町、
喜入町、松元町及び郡山町を廃し、鹿児
島市に編入する」とした決定書が手渡され
ました。



六月灯(照国神社)
鹿児島の夏の風物詩「六月灯」が各
地で行われ、浴衣姿の家族連れな
どでにぎわいました。



7月2日 市政モニター委嘱式
市民の意見や提言を市政に反映させるた
めのモニター制度。今年も100人に委嘱
しました。

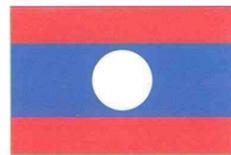
故国発展のキーワード 「日本」の言葉と心を 学び伝えたい



南の国の熱血先生。鹿児島で「頑張る！」

【ラオス出身】

タノン・プーンサバトさん



Hello
KAGOSHIMA

親近感を感じる町 南国・鹿児島

タノンさんは、ラオスの大学で英語を教えていた。昨年10月、日本語を学ぶため、鹿児島大学に留学生としてやって来た。

ラオスは、東南アジア唯一の内陸国で、大河メコン河が南北に流れる。故郷チャンパサックは鹿児島に似て、国の最南部にあり、自然や歴史に恵まれた、世界遺産ワット・プーで知られる観光都市。

鹿児島に来ると決まったとき、とても親近感を感じたそうだ。

そんなタノンさんも、初めて見た桜島にびっくり。「街の目の前に活火山があるので正直ビビった。慣れたら美しい眺めで、温泉もあるし、好きになった」と語る。

フットサルで国際親善

1年半の留学期間。勉強の合間の楽しいひとときがフットサル。



フットサルではディフェンダーとして活躍

フットサルは、屋内で行う5対5のミニサッカーで、KUFSA(鹿大留学生会)では、国別対抗の試合を行っており、タノンさんはインドネシア人チームに助っ人として参加している。

「タノンはラオス語で親切で心が広いという意味」と語るタノンさん。文字通り、インドネシアの留学生仲間にとって、国籍を越えたチームメイトとして信頼と友情を勝ち得ている。

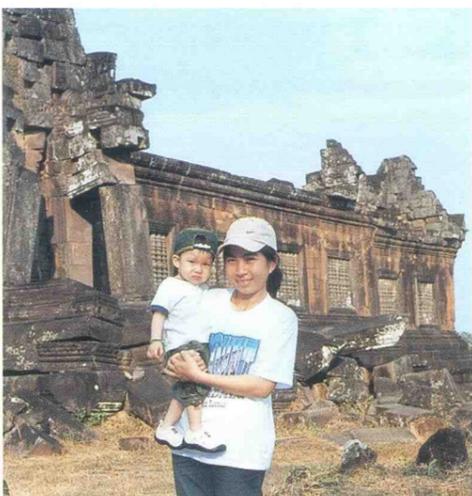
水に慣れる？

「試合の後のビールは最高！ラオスの国民的ビール・ピアラオが一番だけど、日本のビールもおいしいね」。水に慣れるという言葉のとおり、すっかり新しいビールの味にも慣れた。

ラオスでは、1つのコップで次々にビールを回し飲みし、友情を深める習わしがある。「日本人もやってみたら、盛り上がるよ」と教えてくれた。

好きな日本語 「頑張る！」

留学期間もあと半年。故郷では妻のマニライさんともうすぐ2歳のタノンサック君が待っている。車やバイクなどメイド・イン・ジャパンはあこがれの的。工業大



故郷で待つ家族(世界遺産ワット・プーの前にて)

国というイメージを持って来た。「日本はモノばかりではない。進んだ教育環境や、親切で温かい鹿児島の人の出会いは貴重な経験。戻ったら、家族や学生に伝えていきたい」と想いを語ってくれた。

ラオスでは、日本との交流が活発になっており、日本語のできる人材が強く求められている。好きな日本語「頑張る！」をガッツポーズで教えてくれたタノンさん。両国の架け橋として活躍することを確信させてくれる、そんな力強い日本語だった。

作品に残る作家の意思・感慨が 見る人に語りかけてくる

市立美術館

美術館2階の常設展の作品を見ながら思索にふけることが多いんです。私の創作活動の中でとても大切な場所ですね。長年、「少女」をテーマに絵を描き続けてきました。制作するときは、イメージをまとめて自分の気持ちをぐうつと盛り上げて密な時間を過ごし、作品に自分の思いを託します。

そして、自覚はなくても自分の性質が自然と絵に出ているものなんです。

私は高校1年のとき肺結核を発病し、その療養中に絵を描き始めました。それから半世紀が経ちますが、調子の波というものはあります。自分の表現方法に迷い、なかなか思う絵が描けない時期もありました。でも、何らかの突破口を切り開いて進んで行く。その繰り返しです。

展示作家の中でも東郷青児、海老原喜之助、吉井淳二といった方々には直接指導を受けたので、作品を見てると先生



方の個性豊かな語り口とともに当時のことが思い出されます。

先生方の言葉は短いけれど深い。私たちはそのなぞかけのような言葉から、大事なことを読み取らなければなりません。

例えば吉井先生。「君は昔はいい絵を描きおつたんだがね」。つまり今の絵はよくないということ。言われたときは愕然がくぜんとしました。

また、絵を見て「彼は最近おかしいんじゃないか」とも。絵は自己表現だから生活の荒れが出るんです。そこを心配されたんですね。

昨年5月、市立美術館の館長に就任して、収蔵品の質の高さを改めて感じました。本当に毎日宝の山の中で過ごしているようなもので、幸せです。

作品を見てみると、人間が死んでも、作品の中に意思・感慨が残っている。作家はいなくなっても作品が語りかけてくるものだと実感します。

だから皆さんにも絵の前面にたたずんでほしい。一流の作品はただ美しいのではなく、見る人に何らかの力を与えて

私の好きな場所

My favorite Place

鹿児島市立美術館 館長

文田 哲雄さん

昭和8年、大島郡徳之島生まれ。京都で育ち、戦後帰鹿。昭和32年第12回南日本美術展県知事賞、昭和43年第53回二科展パリ賞、平成2年第45回南日本美術展記念大賞など受賞多数。現在、二科会評議員。鹿児島県立短期大学名誉教授、南日本美術展顧問。平成15年5月から市立美術館長。



くれるものだと思います。

画家たちはそれぞれの人生を生き、作品を残しました。また見る人の年齢、経験、考え方などによって作品の感じ方は変わります。

自由な見方で作品と語り合ってほしい。美術館とはそういう場所だと私は思うのです。

「取材メモ」

興味を持ったものはとことん真剣に見つめ、話をされるときは身振り、手振りを交え、ときに口調を変え、ユーモアたっぷりで情熱的。

東郷、海老原、吉井といった郷土の偉大な画家たちも、先生の語り口で生き生きと再現され、ぐつと身近に感じられました。



文田哲雄「少女と雲」2004年
(193.9×130.3cm)

西郷・大久保をささえた首席家老

県文化センターの玄関脇に、西郷隆盛銅像と向き合うかたちで小松帯刀の銅像が建っている。薩摩藩を代表する家老であった小松帯刀は、西郷隆盛や大久保利通同様、日本を代表する明治維新の立役者である。西郷隆盛や大久保利通も、小松帯刀という優れた実力者の後ろ盾があったからこそ偉業をなしたといっ



小松帯刀像

西俣敏弘氏(鹿児島市在住)の作である。同氏によると、左手に帳面を、右手に筆を持っているのは、將軍徳川慶喜が「大政を奉還するかどうか」の意見を諸大名に問うたとき、薩摩を代表する首席家老の小松帯刀が、他藩にさきがけて真っ先に大政奉還賛成の意志を表明し、記帳したときの様子を表現したものであると

すすめて小松家の養子となった。名も小松帯刀清廉と改名した小松は、若くして島津久光によってその卓越した頭脳と政治手腕が認められ、やがて藩の全権を任されて朝廷や幕府と渡り合うまでになり、薩長同盟や大政奉還など、幕末期の重要な事項についての薩摩藩の意向を代表した。例え西郷・大久保といえども、小

元年(一八六五年)と翌年の二回、鹿児島に来て二度ともこの小松帯刀の別邸に宿泊している。現在、小松別邸址には高い石垣と庭園の一部が残されているが、樹齢三百年を越す臥竜梅は、将来を囑望されながら明治三年(一八七〇年)七月、三十六歳の若さで病死した主人の人

ても過言ではない。

銅像が建っている県文化センター、市教育総合センターの東側一帯(現在の東郵便局一帯)は、かつて小松家の屋敷があったところで、文政前後のころの鹿児島城下絵図によると、小松邸は二千三百七十二坪と記されている。

小松帯刀の銅像は、平成五年十月十三日に建てられたもので、

いう。また、小松帯刀銅像は、城山の方向に顔を向け、照国神社の境内に建つ三人の主君(斉彬公、久光公、忠義公の銅像)を拝顔し、至誠忠勤と敬意を表すことを意図したものだといふ。

小松帯刀は、吉利(日吉町)の領主であるが、もともとは喜入領主の肝属主殿兼善の三男で尚五郎といった。安政三年(一八五六)年(二十二歳のとき、島津斉彬の

松の同意なくしては勝手に藩を動かすことはできなかったのである。

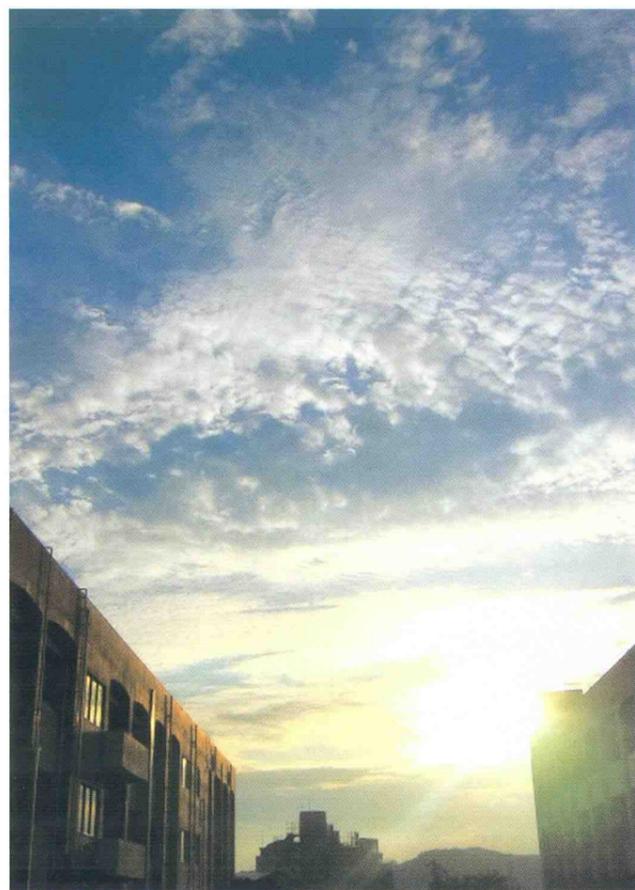
原良本通りの掛腰を少し上ると左手に狭い路地がある。その路地を進むと高い石垣の小松帯刀別邸址に突き当たる。坂本龍馬は慶応



柄を偲び、今も時期を忘れず見事な花を咲かせ、訪れる人の心を和ませている。

文維新ふるさと館
福田 賢治

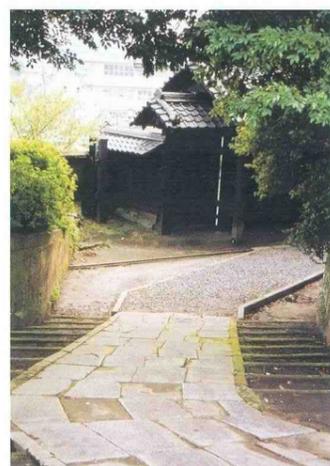




「ほっ」と一息



「晴れ舞台」



「110年」

「耐雪梅花麗」

—110年目の・・・—

鹿児島女子高等学校写真部

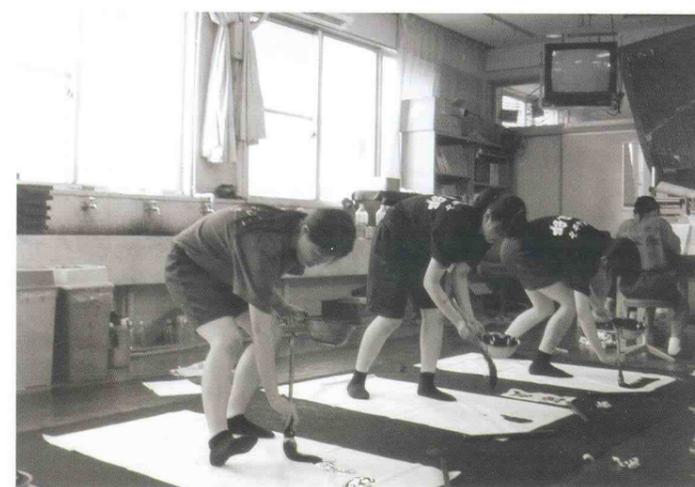
戸内秀美 辻本早智 中村優奈
島村千夏 志戸岡結莉 上野なおこ



「これから・・・」



「夢中になる瞬間」



「一筆に心を込めて」





ナスを食べていたスズムシ。ナスごと手のひらに乗せるとポーズをとるように羽を広げ、「りいーん、りいーん」。秋の夜長に私たちを楽しませてくれる、あの音色でした。

よかTIME

YOKAタイム

平本 和子さん

毎年卵をかえしているとか

30年前、近所の小学生から3組のつがいをもたらったのが最初です。声がきれいで魅せられました。

死んだ後たくさんさんの卵が埋まつてるんですが、土に湿り気を与え続けていると、翌年またいつばいかえるんです。これを繰り返して今、31代目になります。

何匹飼ってるんですか

透明のプラスチックケース1つにオス2匹、メス5匹を入れ、2ケース飼ってます。今年はしませんでしたが、例年たくさん卵がかえるので「スズムシ差し上げます」という



張り紙をします。子どもやお年寄りも来ますよ。

スズムシで子どもと交流ですね

「スズムシが死んじゃった」とケースを抱えて泣いて来る子どもいます。土を掘り返して卵を見せると驚きと喜びの表情で帰って行きますよ。

長く飼って気付いたことは

心を込めれば通じることです。ね。卵からかえったときから毎日「スズムシくん」と呼びかけてるんです。えさを替えるときとかにね。噴霧器で水をかけてやるなどとは、触角だけ動かしてじっとしてまますよ。気持ちいいんでしょうね。

街角

ウォッチング
～谷山駅周辺～



味が家の味まん

「トイモガラとサバの煮付け」

「タマネギとミズナのぴり辛甘酢サラダ」

濱田 泉さん 夫婦
紀子さん

[若葉町]



家庭の数だけ食卓があり、家庭の数だけ語りがある。テーブルに広げられた自慢の料理は、家族の笑顔を演出する。鹿兒島市内におよそ23万9千世帯。一人から大家族まで食卓の風景はさまざま。わが家の味は家庭をどのように彩っているのだろうか。

紀子さんが帰宅した。民生委員は忙しい。「空き時間に家事って感じ。料理は簡単なものしか作れないわ」。でも、おいしくて体によいものにこだわる。夫の泉さんが畑でつくる無農薬野菜が食材の中心。

えっ。30分もたたないうちに4品並んだ。まずは香ばしい匂いのサラダ。「しっかりと混ぜて」の声に従い、口に入れる。酢のようだが、つんどこない。さわやかな甘さもある。香ばしさにぴりっと辛さも。なるほどね。香辛料の入ったスナック菓子だ。タマネギとミズナがいくらでも入る。なんとという組み合わせ。

ちよつとシャキシャキ感がある。これがトイモガラか。県外出身の私は初めて口にした。砂糖じょうゆのほかにはうま味もある。サバのだしだ。サバを口に放り込む。骨だ。あらっ、溶けるようにくずれていく。「缶詰よ」。煮炊き時間が短いわ

今回のレシピ

「トイモガラとサバの煮付け」

1. 材料(4人分)

トイモガラ600g、サバの缶詰2缶、中揚げ2枚、地酒50cc、しょうゆ50cc、ざらめ糖大さじ2、ミョウガ1個

2. 調理手順

- ①皮をむいたトイモガラをしなっとなるまで湯がく。
- ②水を切った①を鍋に戻し、食べやすい大きさに切った中揚げと地酒、しょうゆ、ざらめ糖を入れ、落とし蓋をして煮込む。

- ③沸騰したら中火の弱くらいにしてさらに5分煮込む。
- ④器に盛り、ミョウガのスライス添えてできあがり。

「タマネギとミズナのぴり辛甘酢サラダ」

1. 材料(4人分)

赤タマネギ中1個、白タマネギ中1個、ミズナ1/4束、キュウリ1本、ニンジン1/2本、米酢で調合した甘酢適量、香辛料の入ったスナック菓子4つまみ

2. 調理手順

- ①タマネギは薄切りに。キュウリとニンジンは5センチの長さの千切りに。ミズナは3センチに切る。
- ②①を器に盛り、スナック菓子を上に添えて、甘酢を好みの量かけてできあがり。



「おいしい、おいしい」と泉さん。「いつもこうなの」と紀子さん。実は二人、習字教室とスポーツ少年団の指導に一緒にあたたっている。ソフトバレーボールのチームメイトでもある。夫婦円満の秘訣、食にもあり。

ナスの上で踊るカツオブシにしょうゆをかけてガブリ。簡単な味付けだが、揚げナスだと食べごたえがある。黒米が入ったご飯には甘味とわずかな塩気がある。「沖縄の岩塩を20年使ってるの」。米の甘味だけではなさそうだ。

田上小学校

「門札」

わたしたちの田上小学校では、西郷南洲翁（西郷隆盛）直筆の「田上小学」の門札を学校の宝物として大切に保存しています。

今から、128年前の明治9年10月に南洲翁が揮毫されました。当時、南洲翁の住まいは学校から1.1kmほど離れた所（現在の武町、西郷屋敷跡）にあり、本校にも度々立ち寄られていたそうです。

この門札は、南洲翁のお気に入りであった田上の小牧出身の吉川源助氏（当時、警視庁警部）の依頼で書かれたもので、板は造士館の門を新築したときの用材を使ったといわれています。

現在、校章旗に南洲翁の書かれた「田上小学」の文字を縫いだし、学校のシンボルとなっています。ほかにも本校には、南洲翁が着用した袴下はかまも保存されています。

（校長 下野隆雄）





わが町上空

「鹿児島中央駅周辺」

鹿児島島の陸の玄関口・鹿児島中央駅。今年3月に開業した九州新幹線は、すでに利用者が160万人を超え、多くの観光客が訪れています。鹿児島島の新しいランドマークとなった観覧車（アミュラン）は地上高91メートル。夜はイルミネーションが点灯し、夜景スポットとしてもすっかり定着しています。

常盤トンネルの開通で、武岡団地と中央駅間の通勤・通学がぐっと便利に。写真下の共研公園も、開放的で明るい公園としてリニューアルされ、ジョギングや憩いの場として利用されています。

発車オーライ/博多までの全線開通という次のステップに向けて、進化し続ける鹿児島中央駅周辺。その発展の速度に拍車がかかりました。



編集・発行／鹿児島市広報課

鹿児島市山下町11番1号

電話 216・1133

印刷・レイアウト／渚上印刷株式会社

